

# ウオダス 漁海況速報 No. 1921

発行日 平成28年7月21日

http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184

発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所

TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156

住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



7月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	○ 漁海況	□ 漁況				

## ○日本海沖合ハタハタ分布調査結果

0歳魚の分布密度は前年を上回る  
1歳魚の分布密度は前年同等

<b>小 泊</b>	(7月16~20日)
スルメイカ	釣り 59隻 17,795.0kg
ウスメバル	釣り 88隻 1,841.3kg
(3,791.6kg)	刺網 43隻 1,950.3kg

<b>下 前</b>	(6月21日~7月20日)
(取りまとめ中)	

<b>鯨ヶ沢</b>	(7月1~20日)
(取りまとめ中)	

<b>大 戸 瀬</b>	(新深浦) (7月6~20日)
(取りまとめ中)	

<b>深 浦</b>	(7月16~20日)
(取りまとめ中)	

<b>三 厩</b>	(7月16~20日)
スルメイカ	釣り 3隻 380.0kg
マダイ	釣り 1隻 4.7kg
ウスメバル	釣り 7隻 56.7kg

<b>大 畑</b>	(7月16~20日)
スルメイカ	釣り 95隻 38,515.0kg
(38,720.0kg)	定置網 2隻 205.0kg
マダイ	釣り 1隻 6.0kg
(10.9kg)	定置網 4隻 4.9kg
ブ	定置網 1隻 0.6kg
ウスメバル	釣り 3隻 68.1kg
サバ類	定置網 5隻 6,482.0kg
サクラマス	定置網 1隻 0.6kg

<b>平 館</b>	(外ヶ浜) (7月11~20日)
(取りまとめ中)	

<b>佐 井</b>	(7月1~20日)
(取りまとめ中)	

<b>尻 労</b>	(7月16~20日)
(取りまとめ中)	

<b>白 糠</b>	(7月16~20日)
スルメイカ	釣り 39隻 6,650.0kg
ブ	釣り 1隻 66.1kg

<b>八 戸</b>	(7月16~20日)
スルメイカ	釣り 165隻 70,540.0kg
(70,555.0kg)	定置網 5隻 15.0kg
ブ	定置網 5隻 334.0kg
サバ類	定置網 5隻 24,109.0kg

<b>三 沢</b>	(7月11~15日)
スルメイカ	釣り 237隻 71,505.0kg
マダイ	定置網 5隻 34.0kg
クロマダコ	定置網 1隻 37.4kg
ブ	定置網 3隻 363.0kg
マダラ	釣り 2隻 90.0kg
サバ類	釣り 12隻 41.0kg
(78,491.7kg)	定置網 8隻 78,450.5kg
	刺網 1隻 0.2kg

	(7月16~20日)
スルメイカ	釣り 306隻 113,790.0kg
マダイ	定置網 4隻 26.7kg
クロマダコ	定置網 2隻 25.7kg
ウスメバル	釣り 1隻 5.0kg
サバ類	釣り 7隻 3.0kg
(48,427.7kg)	定置網 6隻 48,424.7kg

## ○平成28年度第2回日本海スルメイカ長期漁況予報

国立研究開発法人水産研究・教育機構は7月21日に関係機関の情報を取りまとめ以下のような予報を発表しました。

今後の見通し (2016 (平成28) 年8月~12月)

対象魚種：スルメイカ 対象海域：日本海 対象漁業：主にいか釣り・小型いか釣り漁業

対象魚群：秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- ・道南・津軽(小型いか釣り)
- (1) 来遊量・漁況：前年を上回り、近年平均を下回る。
- (2) 漁期・漁場：8月までと11月~12月に来遊のピークがある。
- \* 近年は最近5年間(2011 (平成23) 年~2015 (平成27) 年)

## 沿岸各地の水温 (7月16日～20日)

日本海 20℃～22℃台 津軽海峡 18℃～20℃台  
 陸奥湾 19℃～20℃台 太平洋 15℃～17℃台

今回は平均前回差が+0.7度となりました。

前年と比べると、日本海で+0.2度、津軽海峡で+0.1度、陸奥湾では+0.0度、太平洋では-0.9度となり、平均前年差は-0.2度となっています。

平年と比べると日本海、陸奥湾及び太平洋で「平年並み」、津軽海峡で「やや高い」となっています。

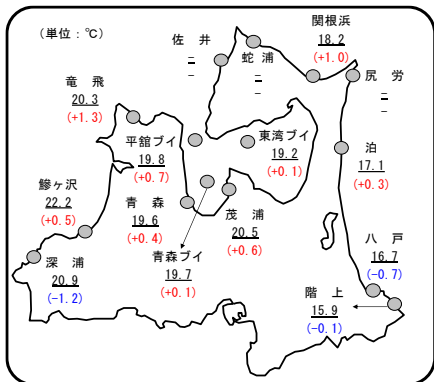


図 定地水温(7月16日～20日) 平均值(平年差)ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (7月16～20日)

(単位:℃)

	水温	前回差	前年差	平年差	
日本海	深浦	20.9	+0.6	-0.9	-1.2
	鰺ヶ沢	22.2	+0.3	+1.4	+0.5
	平均	21.5	+0.5	+0.2	-0.3
津軽海峡	竜飛	20.3	+0.9	+0.2	+1.3
	佐井	-	-	-	-
	関根浜	18.2	+0.7	+0.1	+1.0
陸奥湾	平均	19.2	+0.8	+0.1	+1.1
	青森	19.6	+0.6	-0.4	+0.4
	茂浦	20.5	+0.7	+0.7	+0.6
	平館ブイ	19.8	+0.5	+0.2	+0.7
	青森ブイ	19.7	+0.9	-0.5	+0.1
	東湾ブイ	19.2	+0.8	-	+0.1
太平洋	平均	19.8	+0.7	+0.0	+0.4
	尻労	-	-	-	-
	泊	17.1	+0.1	+0.1	+0.3
	八戸	16.7	+1.0	-1.6	-0.7
	階上	15.9	+1.6	-1.2	-0.1
全体平均	19.2	+0.7	-0.2	+0.2	

## 太平洋の海況 (7月14日～15日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は16～17℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

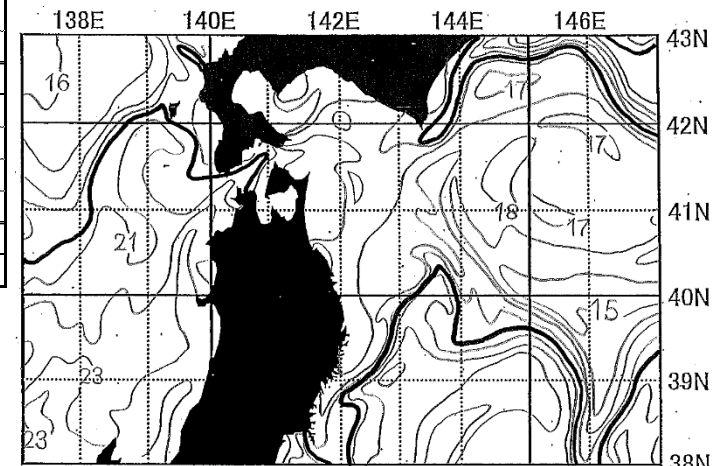
前回と比べ2度ほど高い水温となっています。これは前年同期と比べほぼ同じ水温です。

## 日本海の海況 (7月14日～15日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は20～22℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べ2度ほど高い水温となっています。これは前年同期と比べわずかに高い水温です。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター 北部太平洋海況速報 第31号 7月19日発行

## ○青森県日本海沖合のハタハタ 分布調査結果について

2016年4月～6月の各月に青森県日本海の十三沖、高山沖、出来島沖の水深100m、120m、200m、250m、300mに設定した各調査点で、試験船青鵬丸(65トン)によりオッタートロール

海底曳を行い、ハタハタの分布密度を調査しましたので、その結果をお知らせします。

0歳魚は4月～6月を通じて分布し、密度は5月に79.9個体/1,000㎡と最も高く、前年を上回り、2010年以降では7ヶ年中4番目の高さでした。

1歳魚も4月～6月を通じて分布し、密度は4月に62.3個体/1,000㎡と最も高く、前年と同等で、2010年以降では7ヶ年中5番目の高さでした。

なお、本調査は7月も継続して行っており、今後結果をとりまとめ、今冬の来遊資源の多寡や年齢構成を予測し、昨冬の本県沿岸における年齢別の漁獲状況と併せてホームページでお知らせします。

